

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

今年(甲辰)は60年に一度の「甲辰(きのえたつ)」の年。干支は十干と十二支の組合せで60通りあり、これが二巡すると還暦となり長寿

のお祝いをするのだが、誕生年の干支に還ることの意味を強く持つ機会でもある。

古代中国では、万物はすべて「陰」と「陽」の2つの要素に分けられるとする。「陰陽説」と、すべて「木」「火」「土」「金」「水」の5つの要素からなるとする「五行説」という思想があり、日本では、この「陰」と「陽」を「兄(うい)」と「弟(てい)」に見立て「兄弟(えいてい)」と呼ぶようになった。

一方、十二支は、もともと12カ月の順を表す呼び名が、やがてこれらに12種の動物を当てはめるようになったもの

のだ。今日の占いに一喜一憂するのは全世代に共通した関心事になっている。

今年の甲は第1位であり、優勢である事を表す他、まっすぐに堂々とそり立つ大木を表し「辰」は十二支

の中で唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味し「龍が現れる」といふことが起きると伝えられている。この2つの組合せ、甲辰には「成功という身が成長していき、姿を整えていく」と縁起の良さ

## 「甲辰」の年。地域が飛躍する絶好機だ

を表している年。個人や地域の課題解決に取り組む飛躍する年になってほしいと願っている。

元日に届く年賀状。送り主を思い起こす案しみの一つだが、総務省は昨年12月中旬に手

紙を110円、ハガキ85円に引き上げる省令の改正案を審議会に示した。年賀状を書く前の時期だったら「来年の年賀状は…」との記載ができたのにと感じないだろうか。また高

齢者の会費の多い団体関係者からは、ハガキ以外に対応できない高齢者も多く、物価高騰もあり会費の値上げも不可能で会の存続に苦慮するとの声が多く聞こえてきた。高齢者を含む大勢の方が利用可能な低価格で利用できる情報社会の実現が郵便料金値上げの前にすべきだ。

俳人の一茶が正座することもできない幼子が、おやつを食べる時の「足を組み前屈みの姿勢」を「荳栗や胡坐巧者なちひさい子」と詠んだが、これからの社会は目先の現実への対応ではなく、良か



12月実施される多くの工事は長年の要望実現だが国が借金体質の中で年末に行うのか疑問を抱いてしまう

れと考えるに模範となる行動で示すことが求められる。不祥事が続く政治家には特 (信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上) だ。